

## 第2節 青少年教育

### 1 一般概況

本年度は特に①少年団体青年団体の健全な育成、②青年学級の改善、③国内研修の充実を重点目標とした。

青少年団体については、子供会育成を主眼としたP・T・Aの校外補導の強化と、青年団体女子幹部の資質向上をはかり、生活と生産に結びついた学習活動を中心として、地域活動の促進に努力した。青年学級については、職業教育を重点とした学年制（義務教育終了後3ヶ年課程を標準）コース制への移行、効果的な学習を進めるための学習課程の研究と、指導の工夫につとめた。

国内研修旅行は、特に事前、事後の研修と、現地研修における生活指導の徹底に努力し、終了後の地域活動の促進にも力を注いだ。

青少年教育の態勢をどのように整えていくかということは、今日の社会教育上の重要な課題である。しかし青少年の教育は、単に社会教育の領域のみで解決されるものではない。進展する社会においては、今後学校教育・一般行政との緊密なる連けいが特に必要であり、広い教育の領域で総合的に進められるよう、種々の条件・整備を図らなければならない。

### 2 青年学級研究集会

- (1) 趣旨 社会教育における青年学級の性格と、その位置づけを明確にし、効果的・能率的な学習を進めるための運営・管理の方法について研究協議を行ない、勤労青少年教育の振興をはかる。
- (2) 期日 36. 5. 27～29
- (3) 会場 耶麻郡猪苗代町県積慶寮
- (4) 講師 東白川郡古殿町教育委員会  
教育長 渡辺 幹 男
- (5) 参加者 市町村教育委員会事務局職員、公民館青年学級事務担当者 78名
- (6) 内容
  - ① 講義 青年学級の振興策について。
  - ② 研究協議
- ア 男子の部

- ア 青年学級管理運営の改善策について  
(農村・都市の二分科会)
- イ 青年学級学習内容及指導方法の改善について  
(分科会編成)

- ③ 事例発表
  - ア 会津若松市第一青年学級
  - イ 郡山市麓山青年学級
  - ウ 石川郡石川町農業青年学級
  - エ 田村郡船引町農業青年学級
- (7) 効果 短期間であったため、充分とはいかないが参加者の意欲的な協力によって、予期以上の成果を収め得た。

### 3 青年国内研修旅行

- (1) 趣旨 勤労青少年に明るい希望を与え、はつらつとした郷土振興への諸活動を促進するため、勤労青年を県内外の先進地に派遣して、その活動・教育・文化・産業等の視察研究調査及び現地青年との交歓等を行ない、郷土振興に資する知識技能の習得を助長し、明るい郷土の建設発展をはかる。
- (2) 期日
  - 県内研修 男子 36.8.4～15
  - 女子 36.7.19～30
- (3) 派遣先
  - 県外研修 36.9.2～28

- ① 県内研修
  - ア 男子グループ 19名  
県矢吹原経営伝習農場（畑作、農業機械）  
県種畜場（酪農、養豚）
  - イ 女子グループ 20名  
県立郡山女子高等学校（家庭の健康管理）  
県立会津農林高等学校（家庭経済）  
県立磐城女子高等学校（家庭教育）
  - ウ 男子グループ・女子グループ共・事前研修 2泊3日 事後研修 1泊2日 県積慶寮で行う。
- ② 県外研修
  - 静岡県国立中央青年の家
  - 愛知県豊橋市（第1班）宝飯郡一宮町（第2班）
  - 男子22名
- (4) 研修日程
  - ① 県内研修

研修の種類	月日	研修内容	指導機関	宿舎	備考
事前研修	8月 4(金) 5(土) 6(日)	1. 研修旅行の意義 2. 研修計画について 3. レクリエーション	社会教育課	県積慶寮	4日14時までに積慶寮に集合